

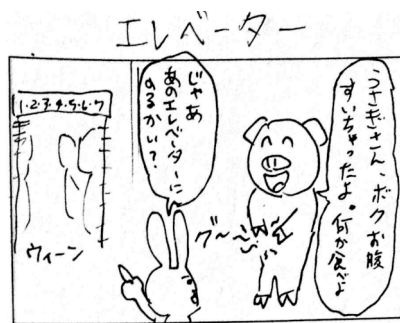
震災から一年、東北3県の今

岩手県・宮城県・福島県で聞いたこと、見たこと

いつもお祈りとお支援感謝致します。震災から一年が経ちました。今年の3月11日、僕は釜石市と大船渡市の追悼式に参加しました。また今月は、去年避難所で知り合った被災者の方々に会いに行くため宮城県南三陸町、声なき者の友の輪主催の「福島未来会議2」に参加するため福島県猪苗代町に行き、被災地の今の様子などを聞いたり、見たりしましたので、岩手県の釜石市と大船渡市の様子とも合わせて、ご報告致します。



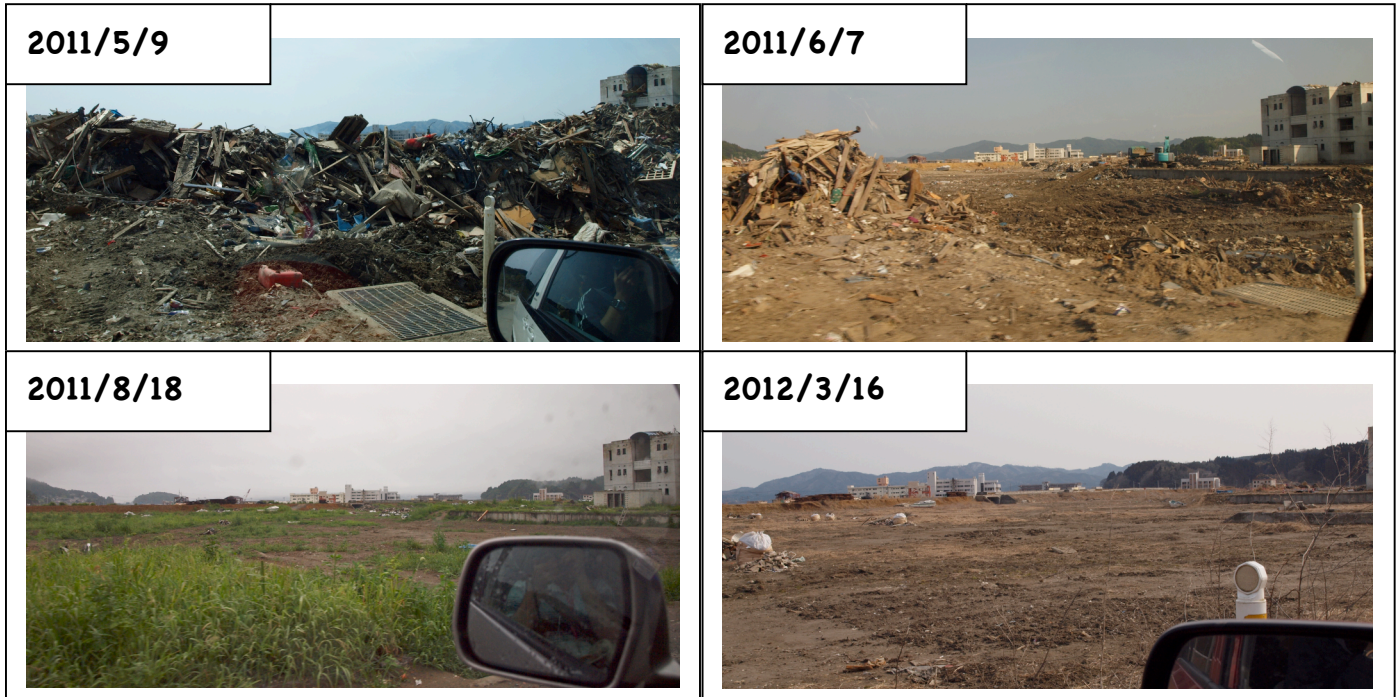
岩手県大船渡市の街と人 大船渡市では津波で流された街の中心部分にあったガレキを撤去し、仮設の飲食店などを多く建てています。他にも、仮設の郵便局などもあります。しかし、街の中心から外れると、半壊した家がまだそのまま残っていたり、大量のガレキの山があります。新築



の家もポツポツと建ち始めていますが、いつになれば復興出来るのか、街を見るだけではまだ見当も付かない状況が続いています。写真は、僕らが主催する子どもお楽しみ会「キッズケ家(や)」で作ったボードです。テーマは「悪口ではなく、友達にいい言葉をかけよう」でした。僕も小学生の頃そうでしたが、ゲームなどして遊んでいても、つい悪口を言ってけなしてでも、勝ちにこだわってしまうものです。また、子ども達も震災のストレスで、互いを傷つけ合っているのかもしれない。いい言葉を掛け合い助けっていく必要性は被災地のおともだちと関わりながら、感じたものでした。キッズケ家当日、ゲームをしたり、「いい言葉」を考えたり、チームを作って実際に仮設に住むおばあちゃんたちの所へ、「言ってもらえたらうれしい言葉を教えてください」とインタビューに出たりして、集めた言葉が写真のボードに書いてあります。参加したおともだちは、「いい言葉を使うって気持ちがいいな」と満足気な笑顔を見せてくれました。彼らの心の中にある、「周りの人のために何か良い事をしたい」という思いが実現した素晴らしい日となったのではと思います。

また仮設に住む方々は皆さん、この一年を「あっという間だった」と振り返ります。心の回復には、個人差がありますが、ゆっくりと進み「最近よく眠れるようになった」と聞くこともあります。皆さんの抱える不安は、仮設住宅が終わった後に生活に関することが多いです。被災者の方々の健康が守られ、必要が満たされるように、今年一年もお祈り下さい。

写真で比較する宮城県南三陸町(4枚ともほぼ同じ位置から異なる時期に撮った写真です)



少しづつ変わる街、変わらない笑顔

2012年3月16日に7ヶ月ぶりに宮城県南三陸町に行きました。南三陸町は、僕が最初に訪れた被災地であり、思い入れの強い場所です。上の写真でもわかりますが、現在津波被害にあった場所には何も建っていません。奥に見える建物は、4階まで津波が来た病院です。撮影場所は、海から約500m離れています。津波被害のなかった土地には、仮設商店街や店舗が増えていて、少しづつですが、にぎやかさを感じました。

今回の訪問の目的は、町内の保育所でボランティアをすることでした。8月にボランティアをした際に、僕がアンパンマンの手遊びを紹介したところ、子ども達が大変気に入ってくれて、昨年末のお遊戯会で取り入れたそうです。今回も、一緒にアンパンマンの手遊びをしましたが、子ども達は僕よりも上手になっていました。震災後に生まれた赤ちゃんや、前回も遊んだ子たちともまた遊べて、充実した2時間となりました。

「恐れるな」福島未来会議2でチェルノブイリ原発事故経験者から学ぶ

2012年3月18日から20日まで、福島県猪苗代町で「福島未来会議2」に参加しました。福島未来会議2とは、福島や日本、世界の未来や自分自身の未来について考える会議です。去年は福島県内の牧師を中心として第1回が開催され今回は20代30代の若者を対象とした2回目でした。その会議の中で外部講師として、26年前のチェルノブイリ原発事故を経験したウクライナ人の牧師ボリスさん(写真左)が、ご自身の体験談をお話してくださいました。当時28歳だったボリスさんは、キエフ市で工業エンジニアとして働いていましたが、そこで放射能を浴び、体調面で問題が出ました。しかし、イエスさまを信じた時に癒され今は健康を取り戻しています。「放射能に対する恐怖は、私もすごく持っていた。しかし、いつまでも恐れに支配されていいのか。神の子どもたちが敬うのは神だけだ」とボリスさんは語りました。彼は現在、ウクライナで事故の影響により致命的な病気を持った子ども達に寄り添う活動をしています。

また、この会議では福島県内の若者や東北を思う国内外の若者が参加し、僕も新しい友達をたくさん作れて感謝でした。いえーい。



手紙お届け隊に参加して下さった皆様へ

この度は、CCMN 東北チームの「手紙お届け隊」に参加して下さり本当に感謝致します。この場を借りて、お礼申し上げます。全国各地から送られてきた70枚以上の心のこもった手紙を、被災地の仮設住宅に住む方へ一通一通手渡ししました。受け取った方の中には、涙ぐんでいた方もいました。確実に、「東北を忘れていません」という参加された皆さんの思いは伝わったと思います。これからもまた「チームジャパン」としてご協力お願いいたします。



宣教師サミットの感想

2月20日～27日まで香港で宣教師サミットに参加しました。初めての参加で緊張もしましたが、「神様に従い続けることを諦めない普通の人」にたくさん会う事ができ、自分の葛藤を分かち合ったりもでき、励ましてもらったりし、岩手で宣教師となった証もしました。



英語を使う頻度が非常に高く、いい勉強になりました。個人的にはこのサミットで「よいチームを作るためには、よくコミュニケーションをとることが大事」ということを学びました。また宣教師とは何かということも体験を通して学べたと思います。

活動報告	2月19日	練馬グレース教会訪問 (練馬区)	今後の活動予定	3月23日	キッズケ家 (大船渡市)
	2月20日～27日	宣教師サミット (香港)		3月31日	友人の宣教師の結婚式 (和歌山県)
	3月11日前後	手紙お届け隊プロジェクト		4月上旬	大船渡市に引っ越し
	3月18～20日	福島未来会議 (福島県)		4月13日～23日	活動報告会 (山口・佐賀県)

祈りの課題

- ・ 3つチーム (宮古、遠野、一関チーム) のために引き続きお祈り下さい。4月から各チームに新メンバーが加わります。よいチームになるようにお祈り下さい。
- ・ 4月上旬に大船渡市に引っ越しをする予定です。スムーズに引っ越せるようにお祈り下さい。
- ・ 手紙お届け隊として、被災者の方へお手紙を渡しました。この手紙を神様が祝福して大いに用いて下さるようにお祈りください。

瀬 知行 山口県出身 平成元年8月9日生まれ 22歳 保育士

瀬知行を支える会の住所: 山口県山口市大内長野 633-1

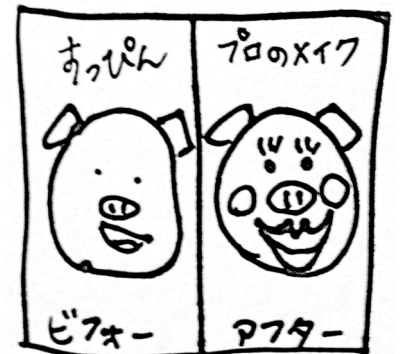
ブログ:「ともだちだよブログ」<http://blog.livedoor.jp/tomotomodati/>

支援献金の方法

私の活動は皆様の支援献金によって支えられております。経済的支援にご協力して下さる方はお手数ですが、以下のいずれかの方法で口座にお振込下さい。

ゆうちょ銀行口座番号: 01350-2-99626 名義: 瀬知行を支える会
 他行からの振込 店名 (店番) 一三九 (イチサンキュウ) (139)
 預金種目: 当座 口座番号: 0099626 「瀬知行を支える会」
 郵貯振替口座番号: 01350-2-99626 名義 「瀬知行を支える会」

まちがえて
ないところ探し



たぶん、ぜんぶで3つあるよ。でもこの情報もまちがえているかも!